

表3 [看護学科] 教育課程と学修成果との対比表

教育課程		学修成果	1	2	3	4	5	6	7		
区分	授業科目		でえ人 理解、対 象を多 様な視 点を捉 える	き る 活 用 し 、 課 題 を 解 決 で る	科 学 的 根 拠 の 基 盤 と な る	度 を 統 合 し 、 対 象 に 応 じ た 看 護 を 実 践 で きる	定 し 行 動 で きる 諸 問 題 に 対 し て 意 思 決 断 を 行 う こ と が で きる	倫 理 観 を も ち 、 倫 理 的 に 挑 戦 で きる 探 求 心 を も つ て 継 続 的 に 挑 戦 で きる	社 会 が 抱 え る 課 題 を 解 決 す る た め の 看 護 活 動 を 明 確 に し て い く る	保 健 医 療 福 祉 チ ーム の 一 員 と し て 多 職 種 と 協 働 し 、 地 域 ・ 社 会 に 貢 献 で きる	
科学的思考の基礎、 人間と生活・ 社会の理解	人間の理解	哲学	○								
		心理学入門	○								
		現代社会と心理学	○								
		論理学の基礎	○	○							
		文学	○								
		生涯発達論	○					○			
	生活・社会の理解	社会学	○						○		
		法学	○				○		○		
		教育学	○						○		
		統計学入門	○	○					○		
	自然科学の理解	物理学の基礎		○							
		化学の基礎		○							
		ヒトの生物学		○							
	国際交流の基礎	情報科学		○							
		コミュニケーション英語Ⅰ	○							○	
		コミュニケーション英語Ⅱ	○							○	
		ドイツ語の基礎	○							○	
		社会人基礎Ⅰ(野外活動)	○						○		○
感性創造	社会人基礎Ⅱ(ボランティア活動)	○						○			
	健康スポーツ	○						○			
人体の機能と構造	人体の構造と機能Ⅰ			○	○						
	人体の構造と機能Ⅱ			○	○						
	生化学			○	○						
	微生物学			○	○				○		
	栄養学			○	○						
疾病の回復の促進	薬理学			○	○						
	病理学			○	○						
	疾病治療論Ⅰ			○	○						
	疾病治療論Ⅱ			○	○						
	疾病治療論Ⅲ			○	○						
	疾病治療論Ⅳ			○	○						
	疾病治療論Ⅴ			○	○						
	疾病治療論Ⅵ			○	○						
疾病治療論Ⅶ			○	○							
健康支援と社会保険制度	公衆衛生学			○					○		
	社会福祉						○		○		
	関係法規						○		○		
	健康と運動			○					○		

教育課程		学修成果	1	2	3	4	5	6	7				
区分	授業科目		でえ人 理間、 解対象 すをを 多生 様活 な者 視と 点し て 捉 点	き る 活 用 し 、 課 題 を 解 決 で る	科 学 的 的 根 拠 の 基 盤 と な る	専 門 的 知 識 ・ 技 術 ・ 態 度 を 統 合 し 、 対 象 に 応 じ た 看 護 を 実 践 で き る	定 諸 問 題 に 対 し て 意 思 決 断 し 行 動 で き る	倫 理 観 を も ち 、 倫 理 的 に 挑 戦 で き る	探 求 心 を も っ て 継 続 的 に 挑 戦 で き る	社 会 が 抱 え る 課 題 を 解 決 す る た め の 看 護 活 動 を 明 確 に し て い く る	働 一 員 と し て 多 職 種 と 協 働 し 、 地 域 ・ 社 会 に 貢 献 で き る	保 健 医 療 福 祉 チ ー ム の 一 員 と し て 多 職 種 と 協 働 し 、 地 域 ・ 社 会 に 貢 献 で き る	
基礎看護学	看護概論		○				○			○			○
	看護倫理		○	○			○	○	○	○			
	看護の方法Ⅰ(看護実践の基盤となる技術)		○	○	○	○	○	○	○				
	看護の方法Ⅱ(日常生活行動への援助技術)		○	○	○	○	○	○	○				
	看護の方法Ⅲ(看護過程の活用方法)		○	○	○	○	○	○	○				
	看護の方法Ⅳ(病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術①)		○	○	○	○	○	○	○				
	看護の方法Ⅴ(病理的状态に応じた日常生活行動への援助技術②)		○	○	○	○	○	○	○				
	看護の方法Ⅵ(看護過程を活用した日常生活行動への援助の方法)		○	○	○	○	○	○	○				
	基礎看護実習Ⅰ(看護師の役割の理解)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	基礎看護実習Ⅱ(基本的欲求の状態に応じた日常生活行動への援助)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
地域・在宅看護学	地域・在宅看護概論		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	地域・在宅看護Ⅰ(地域で暮らす生活者の看護)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	地域・在宅看護Ⅱ(地域で生活する療養者と家族への看護)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	地域・在宅看護技術		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	地域・在宅看護実習Ⅰ(地域で暮らす生活者の理解)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	地域・在宅看護実習Ⅱ(在宅療養者の看護)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
成人看護学	成人看護概論		○					○	○				
	成人看護Ⅰ(慢性期看護)		○	○	○	○	○	○	○				
	成人看護Ⅱ(周手術期看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
	成人看護Ⅲ(がん看護)		○		○	○	○	○	○			○	
	成人看護技術		○	○	○	○	○	○	○				
	成人・老年看護実習Ⅰ(急性期看護)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	成人・老年看護実習Ⅱ(慢性期もしくは終末期看護)		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
老年看護学	老年看護概論		○				○	○	○				
	老年看護(高齢者の心身機能の変化と生活機能を支える看護)		○	○			○	○	○				
	老年看護技術		○	○	○	○	○	○	○			○	
	老年看護実習Ⅰ(入院を必要とする高齢者の看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
	老年看護実習Ⅱ(多様な場で生活する高齢者の看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
小児看護学	小児看護概論		○				○	○	○				
	小児看護(発達段階と健康レベルに応じた子どもと家族の看護)		○	○	○	○	○	○	○				
	小児看護技術		○	○	○	○	○	○	○			○	
	小児看護実習Ⅰ(入院を必要とする子どもの看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
	小児看護実習Ⅱ(地域で生活する子どもの看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
母性看護学	母性看護概論		○	○			○	○	○	○		○	
	母性看護(周産期にある対象とその家族への看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
	母性看護技術		○	○	○	○	○	○	○			○	
	母性看護実習		○	○	○	○	○	○	○			○	
精神看護学	精神看護概論		○				○	○	○			○	
	精神看護Ⅰ(精神症状に応じた看護)		○	○			○	○	○			○	
	精神看護Ⅱ(精神障害をもつ対象への看護)		○	○	○	○	○	○	○			○	
	精神看護実習		○	○	○	○	○	○	○			○	
看護の統合	看護管理			○			○	○	○			○	
	災害・救急看護		○			○	○	○	○			○	
	国際医療福祉事情		○				○	○	○			○	
	看護学セミナー			○			○	○	○			○	
	看護技術の統合		○	○	○	○	○	○	○			○	
	看護研究		○	○			○	○	○			○	
	統合実習		○	○	○	○	○	○	○			○	